

あ い さ つ

会長 青木 脩

ここに私たちの日本社会関連会計学会機関誌「社会関連会計研究第2号」を公刊することとなった。創刊号と比較して、量的にも質的にも、一段と充実したものとなっており、会員および関係者の皆さんとともに、同慶の意を表する次第である。

昨年来の内外における社会的・経済的激動の状況を見ても、社会関連会計の必要性が一層増大していることは論を待たないことであり、私たちの学会の使命も益々重大となっている。幸いにも、この一年間の特筆すべき事柄として、本文中に記載されたように、公表された会員の皆さんの著書・論文も多数にのぼり、さらに本学会員両氏による社会関連会計に関する著書が連続して日本公認会計士協会賞の栄を受けたことが挙げられる。これらのことは、私たちの学会に課せられた使命が果たされつつあり、かつ、私たちの研究の必要性が実務界でも認知されつつあることを示すものというべきであろう。また、昨年日本会計研究学会第48回大会において、多数の本学会員が、研究報告に参加したことも、評価されてよいことと思われる。会員の皆さんの引き続いての研鑽・ご活躍を期待する。

また、懸案の学会編「企業情報ディスクロージャー事典 一社会関連会計の指針一」も間もなく公刊の段取りになっており、斯学の啓蒙・発展に役立つものとして、喜ばしいことである。今後の課題として、学会編の第2、第3の書物を公刊することによって、本学会の研究集団としての実をあげたいものである。会員および関係者の皆さんの格別のご協力をお願いしたい。

なお、本年の第3回大会も、昨年と同じように、9月の日本会計研究学会大会に続いて開催される。今回からは、会員皆さんの要望もあり、2日間の日程を組み、研究報告の時間を充実させることとした。今後もこのような努力を続けたいものと考えている。

終わりになったが、本学会名誉顧問・黒澤清先生がご逝去された。先生には、学会創立以来、私たちの行動をあたたく見守っていただいております。今後の発展と成長をお見せできないのが残念である。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

1990年7月